

事業所名

武蔵野市児童発達支援センター  
みどりのこども館通園部ウィズ

支援プログラム

作成日

2024 年 9 月 9 日

法人理念	「地域社会に役立つ」福祉サービスを必要とする方の基本的人権を尊重し、その人らしい暮らしが送れるような適切な支援を行う				
支援方針	<p>幼児期は生きていく力の土台（自分を肯定する気持ち、他者との心地よい繋がり、遊びを通じての満足感など）を作る時期と考え、次のことを大切にしています。</p> <p>①楽しく遊ぶ経験から能動的な活動を引き出す          ②人との関わりを通じて社会性の発達が促されるようにする          ③毎日の積み重ねの中から基本的な生活習慣を身に着ける</p>				
活動日時	月曜日から金曜日 9:30～15:30	給食の有無	あり なし	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんそれぞれに合わせた食形態（普通食・きざみ・ペースト食）、食具などを提供し、食べられるものの幅を広げたり、摂食嚥下等の食動作向上を促します。</li> <li>・トイレへ定時誘導し、トイレでの排尿や一連の流れに必要な動作の習得や習慣化を促します。排泄の状況により、トイレへの誘導回数を増やすことや、パンツの着用練習も行います。</li> <li>・毎日の着替えの練習や、朝の身支度等を通して身の回りのことに取り組みます。お子さんの課題に合わせた内容を設定し、身辺自立を目指します。</li> <li>・基礎疾患等に応じて、お子さんに応じた体調管理、医療的ケアなどを行います。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂道や平均台などの遊具を使った粗大運動を促すあそびや、音楽に合わせて身体を動かす体操などを通して、ボディイメージを養いながら、運動機能や筋力を向上させます。</li> <li>・粘土や寒天など様々な感触のものに触れながら、手指の感覚を養います。はさみやトング等の道具を使ったあそびを設定し、手指操作を向上させます。</li> <li>・吊り遊具やふれあいあそびで揺れや回転を感じたり、夏季はプール・水遊びなどで水の温度や水の感触を全身で味わいます。あそびを通してお子さんの感覚を刺激し、育みます。</li> <li>・屋外活動（園庭あそび・散歩）を通して、身体を動かすだけでなく四季それぞれの気温・気候を体感します。また、落ち葉や雪などの自然物に触れる機会も設けます。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラストなど視覚的な情報を用いて、ことばや状況などの理解を促します。生活や活動の中で工程表を適宜提示することで、お子さん自身が見通しを持って能動的に行動できるようにします。お子さんの持ち物等には個人マークを使用しており、自分の物や場所がわかりやすいようにします。</li> <li>・毎日、日にち・曜日・天気を確認します。視覚的にも表示しながら、概念形成の習得を促します。時間感覚や終了の切り替えは主にタイムタイマー（残り時間を視覚化し、終了のアラームが鳴るタイマー）を活用しています。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや活動の中で、人とのコミュニケーションを促します。職員が見本となりながら、ことばでの応答や発声、サインやジェスチャーなどお子さんに合わせた方法を引き出します。</li> <li>・絵本やパネルシアター、歌などの活動を通して、物の名前やことばへの興味を引き出します。実物やイラスト等を示すことで物と名前をつなげます。</li> <li>・お子さんに応じた働きかけをすることで、相手からの発信をキャッチ・理解しやすいように配慮します。指差しなどで、ことばの示す部分に着目できるようにします。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や遊びの中で順番を待つことなど、集団の中での社会性を育むプログラムを提供します。簡単なルールを共有して遊ぶ経験を積んでいきます。</li> <li>・職員との関わりを基本に、人と適切に互いに心地よく関わる方法を身につけられるようにします。お友だちと物の貸し借りや一緒に遊ぶ際のやりとりは、お互いにわかりやすいように、また成功体験が積めるように職員が丁寧に仲介します。</li> <li>・年長児は当番活動に参加します。集団の中で役割を持ち、集団の見本となる経験をしながら、成長の手応えと就学への期待感を持てるようにします。</li> </ul>			